

昭和二十二年六月十二日（第三種郵便物認可）
令和二年二月十三日発行（毎月一回十三日発行）

定価 五〇〇円

第941号

高 知 道 會
龍 跳 書 高

第七十六卷

3 月 号

竹村子雀書

清霜碧澗松声静急
雨丹峰鶴唳多

乙未夏月

清霜碧澗松声静急
雨丹峰鶴唳多

説ち雲等のひは韓突厥而在
秦牧用軍宣精宣威沙洋地
卷母九物者之を以來并殺宗怪
成祥主之多虜秦宣精田未據三

踐土會盟。何遵約法。韓弊煩刑。起翦頗牧。用軍取精。宣威沙漠。馳譽丹青。九州禹跡。百郡秦井。嶽宗恆岱。禪主
云亭。鴈門。紫塞。鷄田。赤城。昆
踐土に会盟す。何は約法に違ひ、韓は煩刑に弊れたり。起翦頗牧は、軍を用いること最も精し、威を沙漠に宣べ、譽れを丹青に馳す。九州は禹
の跡なり、百郡は秦の井せたるなり。嶽は恒岱を宗とし、禪は云亭を主とす。雁門、紫塞、鷄田、赤城。

草書千字文

唐 懷素

懷素（七二五—七八五）は唐の僧で、長沙の人。

貧乏で紙が買えず芭蕉の葉に書いた、とも云われています。
この千字文は一字千金といわれ（千金帖）の名もあります。
一筆一筆に思い入れが深く豊かで味わいがある。

唐時代の名作と一緒に学習しましょう。

野島桂山書

晚徑黃花開有色曉程殘月落無聲

晚徑黃花開有色
曉程殘月落無聲

桂山書

松下紫香書

春眠不覺曉
處處聞啼鳥
夜來風雨聲
花落知多少

紫香書

梅川桂龍書

何日復
同遊

何の日か

復た同遊せん

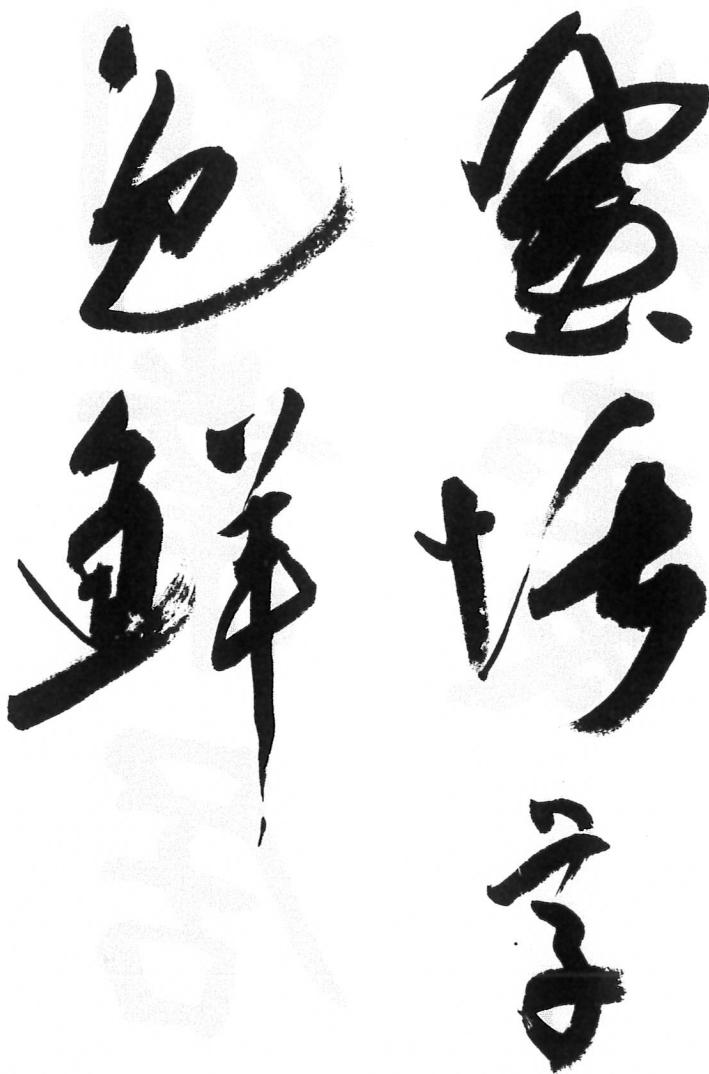
梅
川
桂
龍
書

幽 別
處 業
居 居

別業 べつぎょう
幽處に居る ゆうしょくにゐる

福 原 曉 雲 書

かぜじずかそうしょくあざ
風恬に草色鮮やかなり



出間桂堂臨

草書千字文

弊煩刑起



江西澄翠書

瀟灑高秋葉
紅飄飄落
上川梅梢

市原處艸書

多謝君之雅賞
此畫不負厚望
敬啟者
市原處艸書

山下枝雪臨

譜闕泥塗吳江垂虹

亭作斷雲一片洞

日月同光

大崎花梢書

古墨輕磨油几香沉
冰瓶冷浸人光

大崎花

魚之感密子寧獨德
乃辭金退玉之貞

瑞容

人之可多財不主重
以靜坐以母為家

白妙也真行相間長
史世間第一帖也其

近古亂數世人民却
力猶高階真人成三
芋乞制傳聖法則始
湖偏因自不通視

美峰山

今井真理

中平美峰

西山極山

岡本空仁

川渕瑞容

本義五事文殊神
觀音菩薩之像小
善志作

十七日先生教公司
未吉而以丙子

瑞容

了代首亦然以一歸
自今小立車而觀

知窮達念通貧非理
生壯病覺養心功

美賀山

弘福寺沙門懷仁集晉
右將軍王羲之書

耀翠

奥崎耀翠

水田紅子

大野美賀

和田風和

池芳春

条幅当選作品 出間桂堂 選評

★天位

川渕瑞容君||張猛龍の臨、丁寧で厳しさあり。

岡本空仁君||大胆な筆使いでよく体も動いている、流れよし。

西山極山君||素直な線で余裕あり。

中平美峰君||灌頂記の臨。上部やや混雜か。素朴さは出ている。

今井真理君||達者な書きぶりで章法は良い。

★地位

池 芳春君||変化があり楽しいが「筆」「無」の字、研究を要す。

和田風和君||線が軽い気がする。もつと筆圧を効かせばよい。

大野美賀君||いつもより固さがない。大きい動きもよい。

★人位

水田紅子君||少し多墨か。動きが小さい。もつとのびやかに。

奥崎躍翠君||温和整正、丁寧に仕上げている。

作品は毎月20日必着
(必ず守って下さい)

▷ 次回審査会 ◇

2月の審査は23日(日曜)午前9時30分に開始します。審査会場は**高知城ホール**です。
審査会終了後、女流展下見会を行います。

明
刀
角
牛
火
炎
火
炎

中學一年課題　廣末幽念　書

写記念

3月20日締切

伝古
統い

小学五年課題 山下枝雪書

帰行
りき

かじ

ゆ草

さと
よ

ま

ら
さ
く

小学一年・ようち・ほいく課題 山本瑞草書

し
た

学校名										
六 年										
級段										
氏名										
	り	い	ネ	ど	き	地	球	の	資	源
	い	つ	ル	の	て	の	の	は	少	な
	そ	う	ギ	自	い	自	の	ん	く	くな
	資	源	一	然	る。	然	を	く	な	つ
	源	を	が	利	。そ	を	利	く	く	て
	を	節	開	用	こ	こ	用	な	な	
	節	約	發	し	で	で	し	ん	ん	
	約	す	さ	た	、	、	た	い	い	
	す	る	れ	り	、	、	し	、	、	
	方	た	た	し	、	、	し	、	、	
	た	り	り	て	、	、	し	、	、	
	り	し	す	い	、	、	し	、	、	
	し	て	る	、	、	、	、	、	、	
	て	い	方	、	、	、	、	、	、	
	い	ま	す。	、	、	、	、	、	、	

学校名	五年	級段	氏名

寝る時間になつたので、ぼくは明かりを消した。エルダ
ツドが起きて、明かりをつけた。ぼくは起き上がりつて明
かりを消し、スイツチのそばから動かなかつた。

学校名	ついに、わたしたちは、				
四年	ウナギがたまごを産む場所にたどり着くことができ				
級段	きた。初めて調査に加わ				
氏名	つたときから、三十六年の年月が流れていました。				

小学三年課題 野中恵花 書

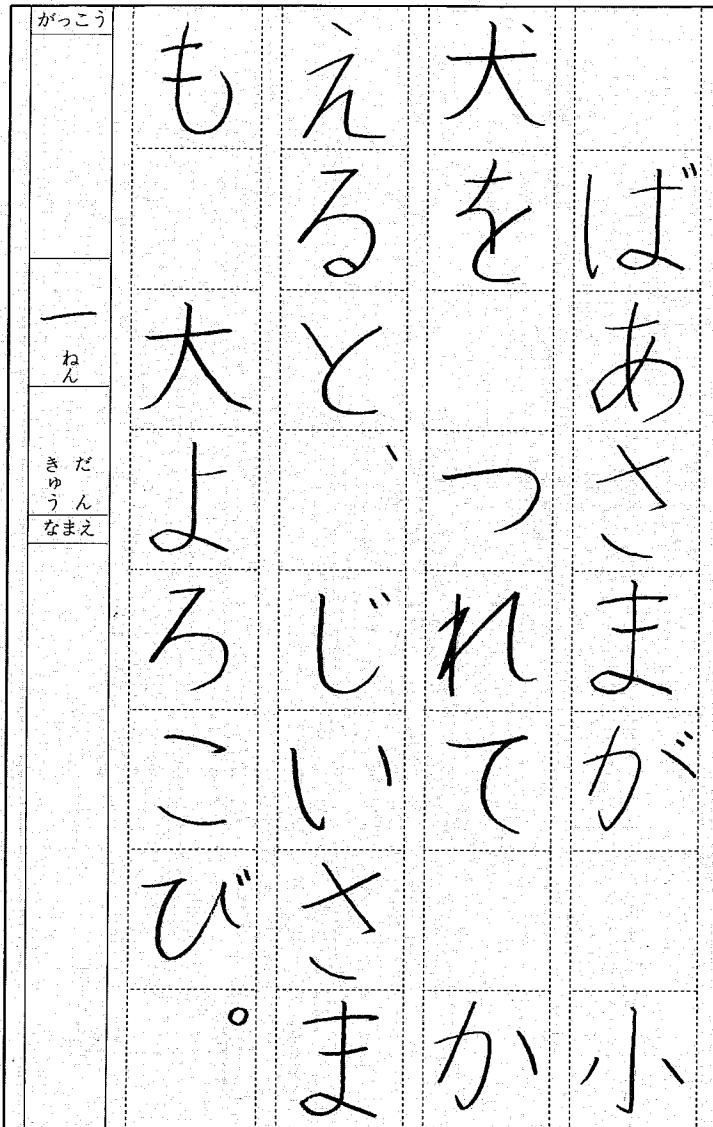
学校名	ウイルソンは、
年	はたら
級段	きありの体の仕組みを、
氏名	とくべつのおしりのところから、

とが分かりました。

とくべつのえきを出すこ

がっこう	て	し	で	年	生	、	心	に	の	こ	つ	樂	し	か	つ	た	よ	、	二
二 ねん	き ゆう	だ ん	読 み	文 集	に	思 い	に	の	こ	つ	た	か つ							
なまえ	ま し	よ う。	ま と め	に	ま と め	出 い	し こ	の	こ	つ	た	よ う							

小学一年課題 藤田桂苑書



がっこう	あ か と あ た か い	し て き て あ た か い	お ひ さ ま ほ か ほ	お ひ さ ま が さ
ほ ねん				
きゅう だん				
なまえ				

春季昇段級試験作品募集集

▽師範の部 (受験資格・本会準師範位に限る)

○課題

邊地鶯花少

年來未^レ覺^レ新

龍塞始應^レ春

(楷花 唐 張籍)

邊地鶯花少
人天上落
人天上より落つ

りやくさいはいじゆく
竜塞始めて応に春なるべし

りやくさいはいじゆく

竜塞始めて

応に

春なるべし

▽第一 部 (受験資格 一般部段位、級位の者)
○課題

居身百尺樓上、放眼萬卷書中

(陳牧)

身は百尺の樓上に居り眼は萬巻の書中に放つ

○右の詩句を小画仙半折に楷、行草体の二枚と一ページ草書千字文より、十二文字以上を節臨して計三点出品のこと。
○作品は無落款とし、作品毎に裏面左下にエンピツで現段級と姓名を明記すること。
○当選者は準師範以下相当段位に認定編入する。

▽第二 部 (受験資格 一般部級位の者)

○課題

知足者仙境

(足るを知る者は仙境)

△作品の締切 令和二年三月五日(木)必着のこと。
△審査日時 令和二年三月八日(日)午前九時三十分より
△審査場所 高知城ホール
△受験作品送付先 〒783-1001 南国市片山四九〇 西山極山宛

注 封筒表に「昇試作品在中」と明記すること

○上記を楷、行、草の三体を半紙三枚出品のこと。

○作品を楷、行、草の順に縦に貼りつぎすること。

○作品は無落款とし、作品裏面左下にエンピツで現段級と氏名を明記すること。

○当選者は初段以下相当段級位に認定編入すること。

○上記を楷、行、草の三体を半紙三枚出品のこと。

故人京 故人京 故人京 故人京
洛満 洛満 洛満 洛満 洛満
故人京 故人京 故人京 故人京
洛満 洛満 洛満 洛満 洛満
故人京 故人京 故人京 故人京
洛満 洛満 洛満 洛満 洛満
故人京 故人京 故人京 故人京
洛満 洛満 洛満 洛満 洛満
故人京 故人京 故人京 故人京
洛満 洛満 洛満 洛満 洛満
故人京 故人京 故人京 故人京
洛満 洛満 洛満 洛満 洛満
故人京 故人京 故人京 故人京
洛満 洛満 洛満 洛満 洛満
故人京 故人京 故人京 故人京
洛満 洛満 洛満 洛満 洛満

(一段目) 惠花君||正整沈着にして、筆力勁健。
美仁君||真率な線質です。これに太
細線を入れ抑揚が加われば
というところ。
賀峰君||編平に書かれ、個性有る作、
落款を小さく。
洗雨君||線深く、良く延びて抑揚あ
り。章法も良い。
智子君||はじめて几帳面に書かれて
いる。
大黒仙雲 選評
恵歩君||字々を大きくとらえて無駄
なく明るい。
美賀君||なめらかな運筆で柔らかく
書けた。
彰二郎君||鋭い線で迫力あり整つて
いる。光翠君||おつとりとした明るい作。
実子君||ゆつたりとした運筆でおも
りがなく豊である。
(二段目) 野島桂山 選評
昭生君||丁寧な筆使いで落ちつきあ
り。
紫陽君||力みなく温厚な作品。
世津君||流れよくまとめてます。
洋堂君||のびやかによくまとまつた。
園江君||力強い線で堂々とした作。
(四段目) 前田秀華 選評
知勢子君||筆よく陽びて明るい作。
啓子君||淡々と書いて好感がもてま
す。
吉孝君||落ち着いた筆跡、更に筆力
青苑君||無理のない運筆。
青苑君||線なめらかで佳。

沙淺祐 沙淺祐 以長守
 參丹也 參丹也 賞也 朱宣
 沙淺祐 參丹也 楊山 美峰
 參丹也 參丹也 楊山 美峰
 蕃色一堯漫存 写也 朱宣
 楊山 美峰 口一宦 將形 朱宣
 沙淺祐 沙淺祐 沙淺祐 東域
 參丹也 參丹也 參丹也 而流域
 蕃色一蕃色一 而仰流 朱宣
 楊山 美峰 會于會 稽山陰
 楊山 美峰

(一段目) 緑堂君^二流れはよいが、やや一方的
 なきらしいあり。選評

賀峰君^二まじめさは買うもやや萎縮
 か? 美峰君^二六字よりも五文字にした方
 が章法がよい。選評

春草君^二もつとおちついで、右への
 線、雜。選評

(二段目) 梅川桂龍選評
 美賀君^二線に深さが欲しい。軽妙な
 花君^二達筆の作、上部の文字大に
 動きで安定している。過ぐのでは。
 紅花君^二良い古典を学ばれています。

風和君^二線の深さ、厚味、筆力共に
 兼ね備えた作。選評

恵子君^二素直な運筆で明るい。重厚
 さがあれば更に良くなる。廣末幽念選評

(三段目) 朱鳳君^二力強い線で堂々と書けてい
 る。岡崎緑水選評

洋堂君^二流れ良く明るい作。

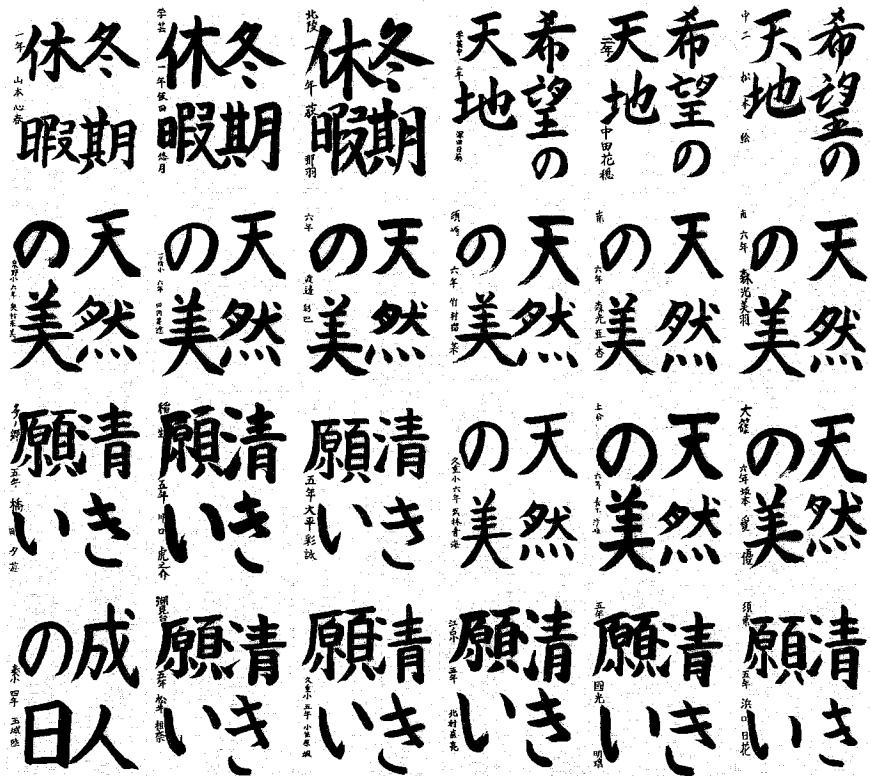
翠君^二氣力充実の作。

年子君^二字々整い明るい。
 佳代君^二力みなく明るい作。
 (四段目) 朱鳳君^二力のみなく明るい。
 幸三君^二聖教序を伸びた線で臨し、
 品格あり。

千枝君^二落ちついて温かみのある臨
 増水君^二いつも乍ら努力のあとが見
 える。選評

啓子君^二丁寧で線に抑揚あり佳。
 隆光君^二良い勉強が出来ている。こ
 の調子で頑張つて下さい。

学童優秀作品



(一段目) 中学部

岡林邦心 選評

絵

君||流れよく明るい作。

花穂君||ゆつたりと書けて良い。

日葵君||落ち着いて、まとめて良い。

那羽君||強い線で力強い。「暇」の最後のハネが大きい

ので窮屈。

悠月君||落ちつきのある作。

心春君||バランスよくまとめて良い。

亜香君||堂々とした力強い作。

美羽君||バランスよくまとめて良い。

瑠菜君||線がのびやかでよくまとまっている。

彩凹君||おちついて書けている。

芽途君||堂々としていて良くまとまっている。

彩凹君||力強く書けている。

來美君||力強く書けている。

沙姫君||おちついて書けている。

青海君||リズム良く書けている。

愛優君||力強く書けている。

青海君||線がのびやかで良い。

(二・三段目) 小学六年

佐々木港花
選評

彩詠君||ていねいによく書いています。

虎之介君||元気にしつかり書けました。

夕暮君||よくまとまっています。

日花君||元気に書けばもっとよくなります。

明璃君||元気に書けました。

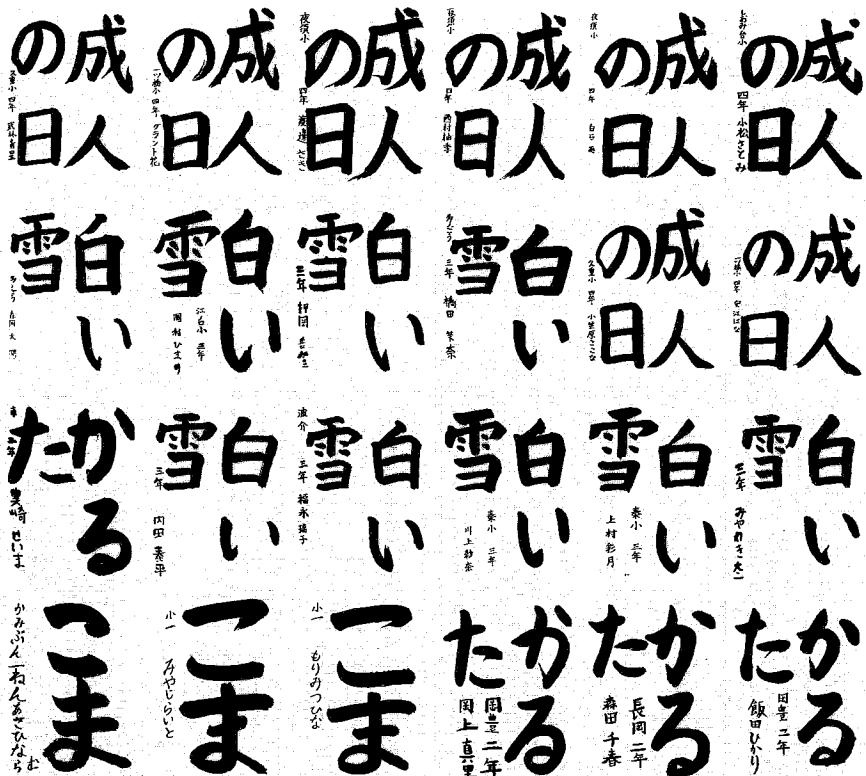
直亮君||ていねいによく書けました。

颯君||もう少し元気に。

恭奈君||大変よく書けました。これからもがんばって。

(四段目) 小学四年 武内美仁 選評

陸君||バランス良く、美しく仕上つてます。



(一・二段目) 小学四年 武内美仁 選評
さとみ君||紙面いつぱいにすばらしく書けています。

葵君||一画 一画思いきって、上手にまとめていま
すね。
さき君||元気いっぱいに仕上がりっています。

グラント花君||のびやかに書けました。

青星君||すなおに書けてます。これからもがんばって

ね。

柚季君||形良くていねいに書けています。

ここな君||たのしく書けています。

(二・三段目) 小学三年 市原處艸 選評

茱奈君||しつかりとした線で良く書けています。

岳登君||ていねいに形良く書けています。

ひまり君||大らかな作品で良い。

太陽君||まじめに書けていますが「雪」の横画の方向に

気をつけて。

太一君||お手本を良く見て形良く書けています。

彩月君||紙面に大きくのび、おさめていて良い。

紗奈君||大きく気持ち良く書けた作品です。

璃子君||しつかりとした筆づかいで書けています。

「い」は特に上手です。

泰平君||強い線でしつかりとした作品です。

(三・四段目) 小学二年 大八木洋女 選評

せいま君||墨たっぷりと力強く書きました。

ひかり君||筆づかいで良い字で書いています。

千春君||形良くしつかり書けています。

(四段目) 小学一年・ようち・ほいく 西山極山 選評

ひな君||ていねいに書けています。

らいと君||のびやかに書けています。

らむ君||元気よく書けています。「ま」の最後がすこし長すぎたね。

硬筆優秀作品

大津 萩野 坂本 愛優

久重 内 小笠原 鳩

秦 一ツ橋 川崎陽奈穂

大柄 公文 怜音

人々の大切な心の財産として長い間受けつがれてきた狂言は、私たちに人間とは何かを教え、生き方にいて考るヒントをあたえてくれるお手本のようなものです。

人々の大切な心の財産として長い間受けつがれてきた狂言は、私たちに人間とは何かを教え、生き方にいて考るヒントをあたえてくれるお手本のようなものです。

人々の大切な心の財産として長い間受けつがれてきた狂言は、私たちに人間とは何かを教え、生き方にいて考るヒントをあたえてくれるお手本のようなものです。

儀兵衛は、設計や土木工事の専門家ではない。そんな儀兵衛が、百年後にも役立つ堤防を造ったことは、まさに偉い功績である。

人々の大切な心の財産として長い間受けつがれてきた狂言は、私たちに人間とは何かを教え、生き方にいて考るヒントをあたえてくれるお手本のようなものです。

儀兵衛は、設計や土木工事の専門家ではない。そんな儀兵衛が、百年後にも役立つ堤防を造ったことは、まさに伟い功績である。

人々の大切な心の財産として長い間受けつがれてきた狂言は、私たちに人間とは何かを教え、生き方にいて考るヒントをあたえてくれるお手本のようなものです。

人々の大切な心の財産として長い間受けつがれてきた狂言は、私たちに人間とは何かを教え、生き方にいて考るヒントをあたえてくれるお手本のようなものです。

浦ノ内 美島 葉花
森光 美羽

久重 多ノ郷 弘瀬英乃玲

浦ノ内 上田梨里香
鍋島祐里花

多ノ郷 黄之瀬 風
夜須 西村 柚季

儀兵衛は、設計や土木工事の専門家ではない。そんな儀兵衛が、百年後にも役立つ堤防を造ったことは、まさに偉い功績である。

森にはいろいろな木や草が生え、鳥やせみの声が満ちていた。森と森の間に小川が流れ、小さな魚が白いはらを見せきらりと光った。

森にはいろいろな木や草が生え、鳥やせみの声が満ちていた。森と森の間に小川が流れ、小さな魚が白いはらを見せきらりと光った。

森にはいろいろな木や草が生え、鳥やせみの声が満ちていた。森と森の間に小川が流れ、小さな魚が白いはらを見せきらりと光った。

森にはいろいろな木や草が生え、鳥やせみの声が満ちていた。森と森の間に小川が流れ、小さな魚が白いはらを見せきらりと光った。

森にはいろいろな木や草が生え、鳥やせみの声が満ちていた。森と森の間に小川が流れ、小さな魚が白いはらを見せきらりと光った。

森にはいろいろな木や草が生え、鳥やせみの声が満ちていた。森と森の間に小川が流れ、小さな魚が白いはらを見せきらりと光った。

森にはいろいろな木や草が生え、鳥やせみの声が満ちていた。森と森の間に小川が流れ、小さな魚が白いはらを見せきらりと光った。

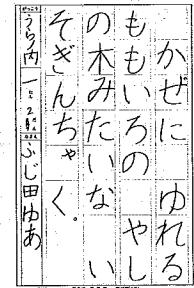
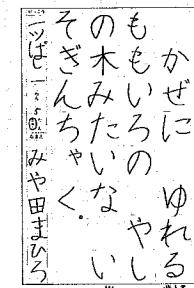
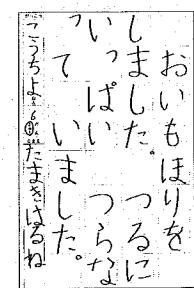
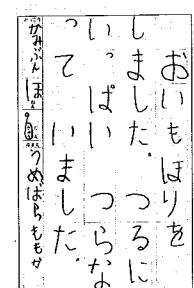
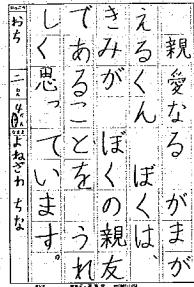
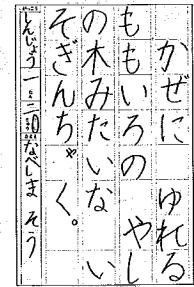
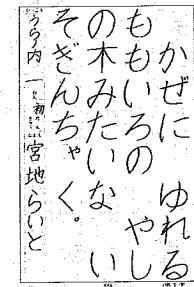
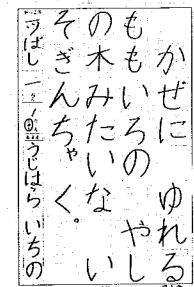
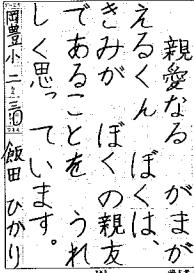
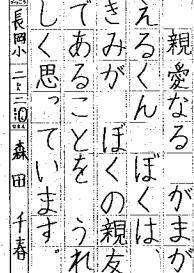
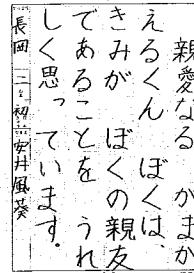
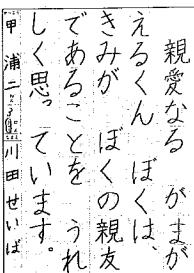
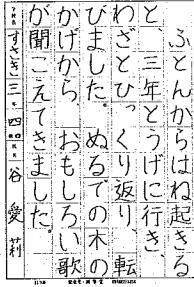
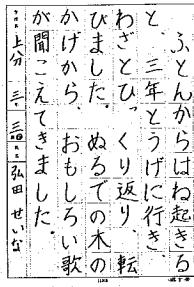
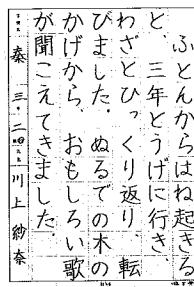
硬筆優秀作品

すさき 谷 愛莉
上分 弘田せいな

岡豊 飯田ひかり
長岡 森田千春

おち よねざわちな
しんじょう なべしまそら

うらノ内 ふじ田 ゆあ
一ツばし みや田まひろ



秦 一宮 川上 紗奈
高橋ほたる

長岡 安井 風葵
川田せいば

うらノ内 宮地 らいと
一ツばし うじはらいちの

こうち かみぶん たまき はるね
みやまひらももか

第89回 競書成績

○印規定・随意共通昇級

条幅

審査出間桂堂
(※印写真版)

★推薦

大田吉政永本村木林岡今中坂井平山中西雅翠
吉永碧和邦真心理峰山極翠香子女心空容

※川渕岡西市山下枝翠
※大崎花梢

★地位

山佐岩辺広本竹崎本田竹里秋朱由知山津河弘明
佐山須知岐山江竹多谷豊原忍豪嘉月仙櫻

※池田和美佐春芳賀喜子陽桂舟峰

★人位

※水田紅子
宮本キン羅翠子

規定

審査福原曉雲

★師範

須崎久高須東山須
崎知礼知崎洋田南
野大島桂弘中桂皓
奥原堂下枝翠華仁月
江泓内美月雪翠峰仁花

利谷喜代子原華美泉
横山千桂華施祥子
丸田宏子原翠子

★準師範

水上旭王久須山旭須波山
国分筆子礼崎田筆介田
大石川河里美峰桂華心女子

豊山山窪窪旭久窪上旭吾旭須旭山須吾池吾
中田田川川筆礼川加筆桑筆南筆田南桑川桑
逸西大尾中平窪佐佐佐河森原奥堅片高橋
見内石崎城井田竹野光森原堅田池萩森
翠仁千勢知桂碧綠江春容舟翠花梢仁空
雲子施葉抄草泉翠月春仁

窪東窪旭川洋川筆
★五段
山笠岩吉崎原谷永彰多紅光二嘉花翠郎
須川崎久佐川礼崎
大黒仙雲

新大津山旭久津須旭久津知筆礼佐ノ札知
多須旭南須山久久礼野ノ札知
芝田氏別役役美佐佐和華
横山門田原中森令泉和華
中原和華

★六段

久仁旭旭旭野香大仁須
礼淀筆筆筆北野淀淀南
川

旭須旭佐窪吾堀川桑川洋川北川南川野
津

西坂鎌岡濱山村田岡下藤大田和
本倉澤田本元原崎北村高
絢春さ順百理星薰玉朱紫昭
子葉わ子合子子山泉鳳陽生

伊吹悠里妙道仙慧代子
津野惠泉佳月
波目美子高橋園子水園水山

★四段

浜田貴志子
中城康華

窪東仁旭窪大旭東大旭仁須
川洋淀淀筆川野筆洋洋筆
川

大新田野見
波目美子高橋園江
高橋志貴翠子助子

高知
川渕瑞谷

★初段

岡松川藤竹岩小柴前広大平
田島村原内本松田伸吉井佳江
更利忠恵子え子美代子枝代子子

河野高橋志風翠子助子
岩崎一花風貴翠子助子

【認定証について】

昇段、昇級された方で認定証が入用の方は、
左記によりお申し込み下さい。

記

★ 師範 三千円

二千円

★ 準師範 一千円

(注意)

申込時左記事項を必ずお知らせ下さい。

① 昇段の年月日

② 学生は学校名と学年

③ 一般は市町村名

(申込先) ご希望の先生に要項を明記した
文書で直接お申し込み下さい。

〒七六一ー二〇三

土佐市高岡町丙五二一六

龍跳書道会 北代碧山

〒七八一ー七四二一
安芸郡東洋町河内三〇四

龍跳書道会 福原暁雲

〒七八一ー二三〇一

高岡郡越知町越知甲二二一七一一六
龍跳書道会 梅川桂龍

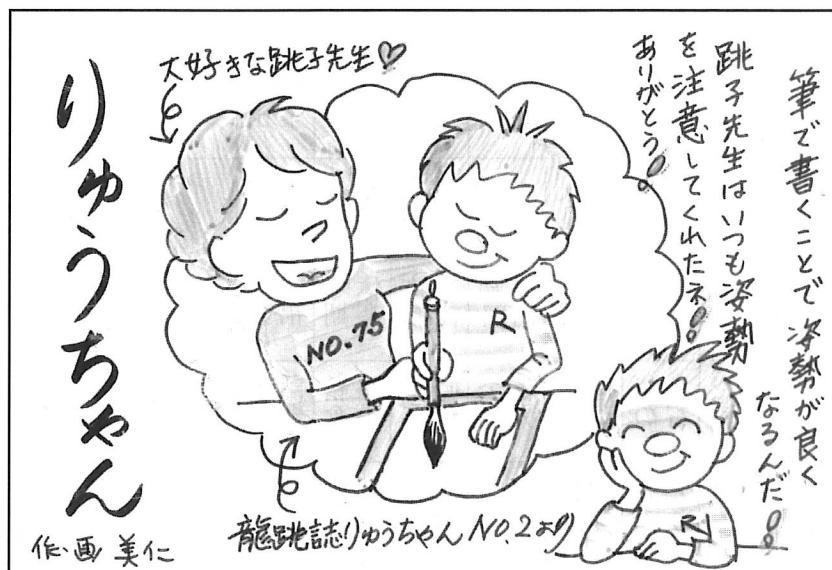
令和2・3年度 跳競書課題

小一 ・ 保	小二	小三	小四	小五	小六	中一	中三 ・ 二	臨書参考	随意参考	一般規定	学年/ 月
いか	ふじ	らちか	川山と	小川の春	行事	学校	春江色	水山紫	自由課題	自由課題	四月
みち	あゆ	人形	れ夕ぐ	の空	五月	習字	ペン	都市田園	黒潮流	〃	五月
たこ	ろば	安全	り魚つ	な船	大き	木池立の	放送	学校	風景の港	〃	六月
うり	せみ	花火	海広い	の松	風	登山富士	実行	不言	読樹陰	〃	七月
なつ	ほん	月光	星北斗	小水車	野球	高校	浴場	海水	大競会泳	〃	八月
そば	むし	夕日	山秋の	高足	音	大会育	技術	科学	表現語	〃	九月
県展課題決定後に龍跳誌にて発表します。											県展課題
ふえ	しはや	山里	の文化	の月	光	平世界	月天澄	紅葉金山	〃	〃	十一月
ゆき	ろだん	大雪	み冬休	北強	風い	山四地	発研究	開玉花	〃	〃	十二月
こま	つこた	きげん	のうめ	の初	出日	交文流	化休暇	冬期	幸福人類の	〃	一月
そら	まるだる	小川石の	待春つを	正公明	時代少年	當番給食	話題	日常の	〃	〃	二月
はる	らさく	どり若み	の山水	見工場	試驗力	学力	写真記念	抱大志を	〃	〃	三月

高知県立美術館「県民ギャラリー」書道関係日程表

展覧会名称	展覧会日程	会場
第48回 オールドパワー文化展	2020年 2月13日(木)～2月18日(火)	県民ギャラリー
第54回 高知県美術教育総合展	2月26日(水)～3月1日(日)	県民ギャラリー
第70回 こども県展	3月3日(火)～3月8日(日)	県民ギャラリー
第18回 日中友好書道交流展	3月17日(火)～3月22日(日)	県民ギャラリー
第40回 高知県女流美術展	3月18日(水)～3月29日(日)	県立美術館 2F
第69回 桜雲書道会百人展	3月24日(火)～3月29日(日)	県民ギャラリー

☆展覧会の日程・名称・搬入日は変更の場合があります。ご了承ください。



春・秋・季 昇段(級)試験申し込み内訳表

申込者氏名 _____

	出 品 料	点 数	金 額	払い込み方法 (いざれかを〇で囲む)
師範の部 (春季のみ)	8000円	点	円	現金・為替・振込み
第一 部	6000円	点	円	現金・為替・振込み
第二 部	4000円	点	円	現金・為替・振込み
学生・学童の部	出 品 料	点 数	金 額	払い込み方法 (いざれかを〇で囲む)
毛 筆	500円	点	円	現金・為替・振込み
硬 筆	500円	点	円	現金・為替・振込み
合計金額			円	

※ 昇試作品に上記内訳表を必ず添付して下さい。 ※グループで送られる方は合計点数で記入して下さい。
 ※ 第一部と第二部は3枚 (師範は4枚) を1点として下さい。

連絡・問い合わせ・送り先等

新規入会申込と会費の送金先

「龍跳誌」冊数変更の通知先

〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎一(一一)一

隅田回心

龍跳書道会 振替口座番号

01690-3-31925

電話 (0八八九) 三一五一〇九七一一番

月例作品の送り先

〒783-10081 南国市片山四九〇

西山極山

電話 (0八八八) 八六五一八八五七番

「龍跳誌」の内容について

〒781-6410 安芸郡田野町一四五六一二九

廣末幽念

電話 (0八八七) 三二八一五二一〇八番

編集についての連絡先

〒785-0010 須崎市鍛冶町六一八

江澄翠

電話 (0八八九) 四二一一三〇六七番

送本についての連絡先

(冊数の相違等については当方へ)連絡下せ。こ。
〒785-0055 須崎市大谷二〇四

野中恵花

電話 (0八八九) 四七一〇七一一一番

あとがき

あけましておめでとうございます

作年末から、天気も良く暖かくて過ごしやすかつたですね。全国的にもスキー場の雪不足、冬物野菜が育ち過ぎて価格が低迷するなど、やはり温暖化の影響でしょうか。

さて最近は、買い物をしていると「〇〇ペイで」という声を聞くことが多くなりました。私も、いくつかの「ペイ」を利用しています。便利なことは、スマホで対応でき支払いがスムーズなこと、加えてキャッシュレス還元で5%、〇〇ペイから数%の還元があるなど上手く使い分ければ、多くのメリットがあります。

一方では金銭感覚が鈍くなることや、システムトラブルのリスクは避けられません。そうした心配をよそに、QRコードで読み取つてお賽銭、お年玉をアプリで送信等々、なんとも趣の無い年明けの、習わしとなりそうですが現実の様です。根底には、人材不足という頭の痛い問題が要因しているのでしょうか。そのうち龍跳の会費も「〇〇ペイで支払います」。ということもあり得ますかね。年明け早々「書」に関係のない事ばかり書きました。肝要なことは、今年一年皆様がご健筆で、ご活躍されることです。今年もよろしくお願ひ致します。

月例競書課題

保育	年	二年	三年	四年	五年	小学六年	一年	二年	中学三年	半紙随意	半紙規定	一般条幅	部別 締切日
	し	さくら	豆まき	七草がゆ	行き帰り	古い伝統	記念写真	明解な答弁	任意	別業居幽處	任意	三月二十日締切	
い	ふ	ちから	山と川	春の小川	学校行事	江山春色	山紫水明	任意	到來生隱心	任意	四月二十日締切		
か	じ												

会費の送金について

会費：半年分 3,000円／1年分 6,000円

1ヶ月の龍跳誌郵送料

(幸便搬送の方は元料不要)

Ⓐ	1冊～3冊	80円
Ⓑ	4冊～8冊	150円
Ⓒ	9冊・10冊	210円

11冊以上は次の計算による。(1ヶ月分)

$$\begin{aligned} \text{例} & \quad 12 \text{冊 } Ⓐ + Ⓑ = 290 \text{円} \times \text{月数} \\ & \quad 17 \text{冊 } Ⓐ + Ⓑ = 360 \text{円} \times \text{ヶ月} \\ & \quad 30 \text{冊 } Ⓑ \times 3 = 630 \text{円} \times \text{ヶ月} \end{aligned}$$

◎会費と龍跳誌元料は原則として半年分または1年分前納のこと。

◎送金は次の何れかへ ・元781-1501 吾川郡仁淀川町大崎133-1 隅田亘心

・振替口座番号 01690-3-31925 龍跳書道会

(お問い合わせ) ☎ 0889-35-0971

○月号(○冊)より○月号まで○ヶ月分

誌代 ○円 / 元料 ○円

と記入のこと。

印刷所	発行所	发行人	編集室
須崎市東古市町二一一六 電話(六八九)四二一〇二四四	(有)笛岡印刷所 電話(六八七)三八一五二〇八 龍跳書道会	安芸郡田野町一四五六一二九 電話(六八七)三八一五二〇八 廣末幽念(本部) 中平美峰 江美翠 前澄華 野秀華 北桂山 代碧山 廣末幽念	